



「君こそスターだ！ in 潮見」について

2月12・13・16日の3日間、昼休みに「君こそスターだ in 潮見」を開催しました。主催は、運営委員会。希望制なので誰でも参加することができますが、学級でオーディションがあり、学級担任等が発表内容の確認をするようにしています。今回は、29の個人、団体が名乗りをあげました。ただし、インフルエンザなどで欠席者が多かったチームは、残念ながら発表を披露することができませんでした。

今回の活動の大きな目的は、二つあります。一つめは、人前に立って特技を披露することで、自分のよさを発揮する喜びを味わうこと。二つめは、友達の発表を見ることで、今まで知らなかった友達のよさに気付くこと。発表する側、鑑賞する側、それぞれに目的がありました。正式な学校行事ではないので、鑑賞する側も希望制ですが、大勢の子どもたちが参加していたのは、関心の高さの証です。積極的に自分の良さをアピールし、それを見る側が肯定的に受け止めることができました。これまで気付かなかった友達の特技に驚いている子がたくさんいて、会を盛り上げていました。今回多かったのはダンスです。SNSで流行しているものなどがありますが、子どもたちの身体表現の一つとしてすっかり浸透した感があります。

本来は子どもたちの活動なのですが、今回、潮見コーラスの皆さんに参加を依頼しました。理由は、メンバーの方が、5年生の家庭科の学習でミシンの指導の補助に入ってくださったからです。子どもたちと一緒に活動していただける地域とのつながりを、今後も大切にしていきたいと思います。ご参観の保護者の皆様も、ありがとうございました。



きらきらバザール(やまぶき)

2月17日(火)の昼休みに、やまぶきの子どもたちが「きらきらバザール」を開きました。自分たちが作った道具や野菜などを教員向けに販売をする活動です。「お店屋さんごっこ」ではなく、社会性を身に付けるための大切な活動です。

客への対応、声掛けは、コミュニケーションを図りながら適切な対人スキルや言語表現を身に付けるために必要なことです。商品を作る、陳列する、表示を作る、お金の計算をするといった自立に向けての生活スキルを身に付けることも期待できます。役割を果たす、働くということで適切な職業観を身に付けることもできます。

やまぶきの子どもたちが協力して「きらきらバザール」を開き、それが成功したことは、達成感につながったと思います。有意義な活動に取り組みました。

